

①

国立第八小学校

学校経営方針



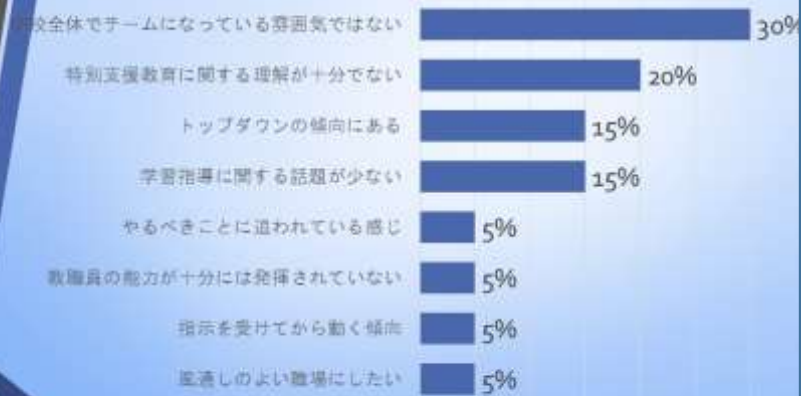
②

八小児童の課題



③

教職員の課題



④

学校施設の課題



⑤

学校教育目標

- よく考え進んで行動する子ども
- **仲良く助け合いよく働く子ども**
- 健康でたくましい子ども



⑥

仲良く助け合いよく働く子ども

【人間関係形成力】

人と上手にかかわれるようになる力

【具体的な姿】

協力して活動できる 協同的に活動できる
 上手にあいさつできる 笑顔で会話できる
 上手に仲直りできる すぐに友達になれる



⑦

目指す学校像

- どの子ども学ぶ楽しさを味わえる学校
- 違いを認め合える学校
- 安心して失敗できる学校
- 健康な心身と豊かな情操を育める学校



⑧

短期的な目標

- どの子ども分かる、どの子ども学んで楽しい授業を目指します。
- 主体的、対話的で深い学びの視点に立った授業改善を進めます。
- 基礎的、基本的な内容の確実な定着を図ります。
- 多様性を受け入れられる児童を育てます。
- 失敗を恐れず、挑戦していく児童を育てます。
- 健康的な学校生活を作ります。
- 心豊かな学校生活を作ります。



働き方改革の推進

⑨

タイムマネジメント力の向上

時間を意識して働く、
できるだけ勤務時間内でする、
仕事の優先順位をつける、
やらないものを生み出す発想、
月当たりの勤務時間外在校時間を

4 5時間以内とする

**余裕をもって子供を見つめ
子供と接しよう**

休暇の
取得促進！

互いに融通し合っ
て、休める時は休む

重点的な取り組み

⑩

- ・モジュール時間を活用した英語学習の充実
週1回の外国語活動・外国語（4 5分）
モジュール1 5分×4回
- ・ESD教育の推進（SDGsの理解と実践）
生活科、総合的な学習の時間で実施
〈国際理解教育、環境教育、人権教育 等〉
- ・生活指導における凡事徹底
あ(挨拶) じ(時間) み(身の回り)
こ(言葉遣い) し(姿勢)

令和3年度 重点的な取り組み

⑪

- ・一人1台端末とミライシードの活用
ドリル学習による学習の定着、意見交流、
協働的な学習、記録・レポートの作成
プログラミング学習（メッシュの活用）
- ・校務支援システム等の活用による効率化
GoogleWorkspace（Classroom）
メール配信システム
Te-Comp@ss（校務支援システム）
- ・読書活動の推進 学校図書館の活用
- ・教師用デジタル教科書の活用（英語）

重点的な取り組み

⑫

- ・積極的な生活指導の推進
子供が自己実現を図るための自己指導能力を
育成していく
- ・安全教育 避難訓練の充実
- ・コーディネーショントレーニングの推進
パワーアップタイム、準備運動
- ・オリパラ教育レガシーの構築
しょうがい者理解教育 パラスポーツ
- ・食育の推進

新たな取り組み

⑬

- ・登校時間の変更
8時15分~30分
(15分遅くなりました。)
- ・名簿順の変更
性別に依らず、全員名前順に変更しました。
- ・登校時の健康カード確認
校庭での確認→教室前の廊下での確認



新型コロナ感染防止対策について

⑭

- ・ 毎朝の検温と健康観察表記入の協力依頼
- ・ 入室前のカード点検の実施
- ・ マスクを着用しての学校生活
体育のときのソーシャルディスタンス
話合い時の机の工夫
給食喫食時の無言
歌唱、演奏時の場の工夫
特別教室、職員室、会議室での
スクリーンの設置
サーモセンサーの活用



新型コロナ感染防止対策について

⑮

- ・ 学校行事の内容の工夫
朝会、集会の校内テレビ放送活用
集会のリモート化
運動会、展覧会の工夫
入学式、卒業式の工夫
宿泊行事、遠足等の工夫
※公共の交通機関は使用しない
※借り上げバスの中で喫食はしない



みんなで力を合わせて

⑯

